

この調査はウイスコンシン大学ミルウォーキー校 Office of Undergraduate Research (<https://uwm.edu/our/>) の出資のもと、首都圏の日本語話者の発話の特徴を調査・研究するものです。

調査者によるデータの取り扱いについて

- 本調査で収集された調査協力者のプロフィールや音声データなどの情報は、上記研究に必要な限りにおいて利用され、研究成果の一部として必要な範囲内で公表されることがあります。
- 入力された年齢、出身地、居住地等の情報は、研究成果の一部として開示する場合でも、プライバシーに十分配慮し、調査協力者個人が特定されることのないようにします。
- スペクトログラムの画像データなどの、入力された音声データの分析結果は、研究成果の一部として必要な範囲内で公表されることがあります。
- 本研究に必要な場合であっても、事前に調査協力者の個別の承諾を得ることなく、メールアドレスまたは音声データを、加工の有無にかかわらず、直接公表することや、第三者に開示することはありません。
- 本調査で収集された調査協力者のプロフィールや音声データなどの情報は、調査協力者から追加の承諾を得ることなく、他の目的には利用されません。
- データは、jotform.com を通じて収集され、jotform.com の調査者のみがアクセスできる非公開アカウント、および、各種オンラインストレージのアカウントを含む、調査者の管理する非公開ストレージ上に保管されます。

調査協力者による自身のデータのコントロールについて

- 調査協力者は、データを jotform.com を通じて調査者に提供しますが、その際に提出されるデータは、提出処理完了後、その概要が調査協力者が指定したメールアドレスに送信されます。
- 調査協力者は、データ提出完了時から日本時間2020年8月31日までの間、jotform.com から送信されるメールに含まれるリンクから、提出された音声データをダウンロードすることができます。

- ・調査協力者は、いったん提出されたデータについて、自らが提出したデータの利用を停止させたい時は、その旨を調査者に通知することができます。調査者は、その通知を受けたときは、その調査協力者から提出されたデータを削除し、また、研究の対象からも除外します。ただし、通知を受けた時点で、当該データを利用した研究成果が一部分でも既に公表されている場合は、この限りではありません。

調査協力者による調査内容の開示について

- ・調査協力者は、日本時間2021年5月31日までの間、本調査の内容を秘匿します。ただし、日本時間2021年5月31日以前であっても、調査者が内容を開示して良いと通知した場合は、その時点から調査内容を開示することができます。

調査責任者

飯田潤一 jiida@uwm.edu

文書作成日 2020年8月5日